

第2回 ゲーム機・スマホを知ろう！～子どもを守るためのしゃべり場～

第2回「牧中・しゃべり場」のまとめです。昨年度開催した第1回のまとめプリントでは伝えきれなかった情報を中心にまとめました。参加された方も、そうでない方も、ぜひご活用ください！

こんな問題事例が起きています！

● 不正アクセス禁止法違反

愛知県は、全国的に見ると、小中学生の「不正アクセス」が多いそうです。

「不正アクセス」とは、他人のIDやパスワードを使ってネットにアクセスすることで、子どもの犯罪事例としては、他人のIDを使ってゲームのアイテムを勝手に購入したりするケースが多いようです。

いたずら半分の軽い気持ちであっても、「不正アクセス」は犯罪になる、ということを教える必要がありますね。

これは犯罪です！



● 恐喝事件

「LINE」などのSNSを使って、被害者を呼び出し恐喝する事件が頻発しています。

子どもが被害者になるケースもありますが、子どもが加害者になるケースも増えています。中には、子ども同士でトラブルになり、殺人事件にまで発展してしまうケースもありました。

SNSに問題がある、というわけではありませんが、こうした事件に利用されることがある、ということを知っておくべきでしょう。

いじめから事件に発展するケースも！



● なりすまし

現在「出会い系サイト」と呼ばれるものは、規制が強化され下火になっていますが、それに代わって「コミュニティサイト」が増えています。

一見危険はなさそうな「友達交流サイト」になっていますが、その利用者が本当に「15歳・中学生女子」であるかどうかはわからないのです。

相手のプロフィールを信じて会ったことから事件に巻き込まれるケースが多発！



また、それらのサイトでは、個人情報や載せることが禁止されていることも多いので、お互いの「LINE ID」などを交換して、直接やり取りできるように持ちかけてくる不審者もたくさんいます。世知辛い世の中で、少々辛いことではありますが、「ネットにある情報は、すべて真実とは限らない。なりすましがたくさんいる」ということを、子どもたちに教えなければなりません。

● 簡単につながってしまう

「LINE」の「ふるふる」という機能をご存じですか？「LINE」を使っている人同士なら、電話番号やIDの交換をしなくても、スマホを近づけて「ふるふる」と振れば、その場で「友達」になることができます。

LINEの「ふるふる」画面
とても便利だけど、ちょっと待って！
あなたの情報が知らない人に飛んでいるかも！？



とても便利な機能なのですが、実際にやってみると、直接「ふるふる」をしている人だけではなく、たまたま近くにいた人までも「友達」として認識されてしまうのです。この「ふるふる」の機能は、スマホの「位置情報」を利用するので、近くにいる人の情報も拾ってしまうため、知らない人の情報も入ってきてしまいます。ということは、自分の情報も、知らない人のところへ飛んでいる可能性が高いのです。こんなふうに、簡単に知らない人とつながってしまう、ということも知っておいた方がいいですね。

● 使い始めに被害が集中

H25年度は「コミュニティサイト」で被害に遭う児童数が急増しました。残念ながら、「コミュニティサイト」には「悪意を持った大人がたくさん潜んでいる」というのが実情です。

また、それらのサイトを利用しはじめて1年以内に被害にあった児童が、全体の4分の3以上ということなので、使い始める時にきちんと危険性について教えることで、被害を未然に防ぐこともできます。

その他にも・・・

プライバシー侵害



写真の取扱いには注意が必要！一度アップした画像は完全に削除することはできません



クレジットカード決済をしていると、知らぬうちに課金されている可能性があります

損害賠償



いたずら半分の行為で、店舗が閉店に追い込まれた事例もあります！未成年であっても責任追及されます

「保護者と子どものためのスマホ・ケータイトラブル読本」（愛知県教育委員会総務課教育企画室発行）から、「わが家のルール」を考えると参考になる記事をご紹介します。

スマホ・ケータイのトラブルを防止するには「わが家のルール」を話し合っ て決めることが大切です

フィルタリングに加え、子どもと話し合っ「わが家のルール」を決めておくと、子どもがスマホ・ケータイを安全・快適に使う手助けとなり、親として子どもを見守るためにも役立ちます。本書のこれまでのページで学んだことなどを生かしなが、使い方のルールだけでなく、生活習慣に関わるルールなども決めておきましょう。

また、スマホ・ケータイ機器は、高額で毎月の利用料も相当かかり、子どもが自分の力で持つのは困難なものです。保護者の機器を「借りている」という意識や、その機器を管理するのは保護者として当然の責務であることも話し合っおきましょう。

「わが家のルール」にぜひ、入れておきたいこと



下記は有識者の皆さんの研究などから、ルールに入れておいた方がいいと思われる重要項目です。この項目を基本に、右頁の具体例を参考にして子どもと話し合っ、「わが家のルール」を決めましょう。

1 困ったことがあったら、すぐ保護者や先生に相談する。

2 ネットで知り合った人と直接会わない。

3 他人のIDやパスワードを使わない。
自分のパスワードは、忘れにくく他人から分かりにくいものにする。

4 アプリのインストールは親の許可を得て行う。

5 必要以上に個人情報を公開しない。

6 ベッドやお風呂に持ち込まない。

7 勉強するときは、電源をOFFにする。

8 充電は、リビングなどの決められた場所でする。

須真ファミリーの
基本ルールです！



これが
一番
大事！

ご家庭でのルール作りの参考にしてください。お子さんと一緒に考えてみましょう！

※画像はすべて「スマホ・ケータイトラブル読本」から引用しています（LINEのみHPより引用）

その他、必要に応じて入れておいた方がいいこと



より詳細なルールが必要かどうかは、子どもの利用状況や環境により異なります。お子さんの実状に合わせて項目をプラスして、親も子どもも納得の「わが家のルール」をつくりましょう。

その他の具体例

追加したい項目を
チェック

使い方編

- フィルタリングを行う。
- 自分の電話番号やメールアドレスをむやみに教えない。
- 自分の電話番号やメールアドレスを教えたなら相手は誰かを保護者に伝える。
- おかしなメール、知らない相手からのメールは必ず保護者に見せる。
- メールを送るのは1日〇回までとする。超える場合は理由を保護者に伝える。
- ブログや日記、SNS、ゲームの利用は1日〇時間まで。
- 必要のないサイトにアクセスしない。
- 有料サイトの利用は保護者に相談して許可を得る。
- 会員登録等の個人情報登録は、有料無料に関係なく、保護者の許可を得る。
- 人の悪口は絶対に書かない。
- 無許可で他人の写真を撮ったり、情報を公開したりしない。

生活編

- スマホ・ケータイを使いながら、歩いたり、自転車に乗ったりしない。
- 学校の中では使わない。
- 夜〇時以降、朝〇時まではスマホ・ケータイを触らない。
- 食事中はスマホ・ケータイを触らない。
- 保管場所は家族の集まる場所にする。

スマホ・ケータイと
上手につきあえる
大人になってほしいわ

何事も節度が
大事だね



さらにプラス！



上記の例等を参考に、家族で話し合っ
てプラスするルールを決めましょう。

1

2

3

ルールは
定期的に見直し、
より適したものになるよう
工夫するのじゃ

